

「当院で測定した血小板凝集能に影響を与える因子の調査」へのご協力をお願い

山口県立総合医療センター薬剤部では、臨床研究倫理審査委員会の審査を受けて、院長の許可のもとで下記の研究を実施しております。内容を確認していただき、研究の対象者に該当する可能性のある方で、研究の情報が用いられることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先までお申し出ください。

研究課題名	当院で測定した血小板凝集能に影響を与える因子の調査
目的と意義	抗血小板薬は、脳梗塞、虚血性心疾患、閉塞性動脈硬化症等の疾患において広く使用されています。しかし、臨床現場においては用量調節が不十分なまま使用されることが多くあり、過剰投与又は過少投与により出血や血栓症が生じるケースが散見されています。そのため、抗血小板薬の適切な投与量の確立が不可欠であり、血小板凝集能に対する因子の影響を明確にすることが重要です。本研究では臨床検査値等の血小板凝集能に影響を及ぼす可能性のある因子について調査し、臨床現場における適切な投与量の設定に資する知見を得ることを目的としています。
実施予定期間	院長の研究実施許可後～2026 年 3 月 31 日
対象患者	2022 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日の期間に山口県立総合医療センターで抗血小板薬の減量又は増量に際し、血小板凝集能検査を複数回行った患者様
方法	(1) 血小板凝集能検査における APAL(ADP 誘発血小板凝集能レベル)および CPAL(コラーゲン誘発血小板凝集能レベル)の測定値と、腎機能、体重、アルブミン値等の臨床因子との相関関係を解析します。 (2) 電子カルテ上の医師記録、持参薬報告、処方歴、薬剤師記録、看護記録から下記情報を抽出します。
使用する情報	年齢、性別、入院時の診療科・疾患名、入院目的、既往歴、処方歴、抗血栓薬の内服の有無、服薬状況、脳卒中の病名、APAL、CPAL、CCr、eGFR、アルブミン値、BMI、体重、幼若血小板
個人情報の取り扱い	利用する情報から個人を特定できる情報は削除します。また、研究結果は学会で発表を予定していますが、その際も個人を特定できる情報は利用しません。
利益相反	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
公表	学会での報告予定です。
実施体制	山口県立総合医療センター 薬剤部 木下雅貴（研究責任者） 山口県立総合医療センター 薬剤部 蔵田康秀 山口東京理科大学薬学部 医療安全学分野 相良 英憲
問い合わせ先	山口県立総合医療センター 薬剤部 木下雅貴（研究責任者） Tel.0835-22-4411(代表)